

8 3 室神明社のタラヨウ



2011.2.4撮影



葉を傷つけ書いた文字
2009.5.13撮影



2011.2.4撮影

タラヨウ（モチノキ科）
樹高 13m
幹周 1.0m
所在地 室町上屋敷97
所有者 室神明社

庭園樹として植えられることは少なく、多くは寺院などで見られ、この樹も室城跡地の室神明社にある。温暖な気候を好むためあまり寒い地帯では見ることはなく生育は遅い。市内でも古いものは枯れてしまい今では貴重な存在である。

葉面に傷をつけると黒くなるので、尖ったもので葉に文字を書くことができ、別名「経葉」ともいわれる。また、葉を弱火に当てると緑色から黒い輪郭模様を生じ、徐々に拡大してくる。